

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	こころとからだのしくみⅡc	担当者名	森田 要
授業の概要	人間が生きていくために必要となる基本的行動と、行動に関わる脳との関連についての知識を身につける。生活支援の場面に応じた、こころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解する。				
科目の到達目標	①移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持、排泄、休息・睡眠の6項目に関連したこころとからだのしくみを理解できる。 ②人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみを理解できる。 ③対象者の自立支援という観点から、こころのしくみと関連し考えることができる。 ④チームケアにおける介護福祉士の役割を理解し、医療職と連携をもつことの必要性を理解できる。				
DPの観点	③柔軟性(20) ⑥専門知識・技能(40) ⑦思考力(20) ⑩問題解決力(20)				
授業時間外学修 (予習・復習)	テキストの該当箇所の図、表に目を通し予習をする。予習・復習をそれぞれ2時間程度行うこと。 人間の生活行動について、脳と関連するものとして意識する。				
フィードバックの方法	各レポートの結果を返却、また、振り返りシートにてフィードバックする。				
単位認定の要件	15回の授業後、最終課題レポートを提示し記述内容を評価する。 授業内活動時には、活動に関わるレポート提出を求める。 演習への参加状況、提出物、最終課題レポートから総合的に判断する。				
評価の方法・割合 (%)	最終レポート 60%、授業内提出物 20%、授業内活動 20%				
履修上の注意事項	授業内活動には、授業に取り組む姿勢、態度、積極性等も含まれる。 介護福祉士資格取得必須科目。 30分以上の遅刻、また、30分未満の遅刻・早退が3回認められた場合は、欠席1回と換算する。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			健康とは何か。脳のしくみ身体各器官系について理解する	③⑥⑦⑩	振り返りシート
2			人間の欲求と生活行動	③⑥⑦⑩	振り返りシート
3			移動に関するこころとからだのしくみを理解する	③⑥⑦⑩	振り返りシート
4			心身の機能低下・障害が及ぼす移動への影響と医療との連携	③⑥⑦⑩	振り返りシート
5			身じたくに関連したこころとからだのしくみを理解する	③⑥⑦⑩	振り返りシート
6			心身の機能低下・障害が及ぼす身じたくへの影響と医療との連携	③⑥⑦⑩	振り返りシート
7			食事に関連したこころとからだのしくみを理解する	③⑥⑦⑩	振り返りシート
8			心身の機能低下・障害が及ぼす身じたくへの影響と医療との連携	③⑥⑦⑩	振り返りシート
9			入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみを理解する	③⑥⑦⑩	振り返りシート
10			心身の機能低下・障害が及ぼす身じたくへの影響と医療との連携	③⑥⑦⑩	振り返りシート
11			排泄に関連したこころとからだのしくみを理解する	③⑥⑦⑩	振り返りシート
12			心身の機能低下・障害が及ぼす身じたくへの影響と医療との連携	③⑥⑦⑩	振り返りシート
13			休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみを理解する	③⑥⑦⑩	振り返りシート
14			心身の機能低下・障害が及ぼす身じたくへの影響と医療との連携	③⑥⑦⑩	振り返りシート
15			「死」に対するこころの理解。こころとからだの変化と医療との連携	③⑥⑦⑩	振り返りシート
期末試験			最終課題レポート		

使用テキスト	最新 介護福祉士養成講座11「こころとからだのしくみ」 荘村明彦 中央法規出版
参考文献 参考URL	「からだが見える 人体の構造と機能」 第1版 岡庭豊 メディックメディア
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--